

安全データシート

改訂日：2020年1月30日

1. 製品及び会社情報

製品名
会社名
住所
電話番号

ホスフィン酸溶液(50%)
米山薬品工業株式会社
大阪市中央区道修町2丁目3番11号
(06)6231-3555(大阪・本社)
(03)3246-2311(東京) (0268)22-5910(上田)
(052)504-2221(名古屋) (082)537-0290(広島)
CB0135

整理番号

2. 危険有害性の要約

GHS分類

健康に対する有害性

皮膚腐食性及び刺激性: 区分1
眼に対する重篤な損傷性及び眼刺激性: 区分1

ラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語

危険有害性情報

危険
重篤な皮膚の薬傷及び目の損傷
重篤な眼の損傷

注意書き

【安全対策】
取扱後はよく洗うこと。
ミストを吸入しないこと。
適切な保護手袋、保護眼鏡、保護面を着用すること。
【応急措置】
飲み込んだ場合: 口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
皮膚(または髪)に付着した場合: 直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと。取り除くこと。皮膚を流水、シャワーで洗うこと。
眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
飲み込んだ場合、皮膚(または髪)に付着した場合、吸入した場合、眼に入った場合は、ただちに医師に連絡すること。
汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。
【保管】
施錠して保管すること。
【廃棄】
内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別

化学名

慣用名又は別名

化学物質を特定できる一般的な番号

化学式又は構造式

濃度又は濃度範囲

官報公示整理番号(化審法、安衛法)

混合物

ホスフィン酸溶液

次亜りん酸溶液

CAS RN: 6303-21-5(ホスフィン酸)

H₃PO₂

ホスフィン酸: 50%

(1)-420

4. 応急措置

吸入した場合

鼻孔を多量の水で洗い、うがいをする。ただちに医師の手当てを受ける。

皮膚に付着した場合

汚れた衣類や靴等を脱ぎ、製品に触れた部分を水で洗い流した後石鹸を用いて十分に洗浄する。ただちに医師の手当てを受ける。

眼に入った場合

速やかに清浄な水で最低15分間の洗浄を行い、ただちに医師の手当てを受ける。

飲み込んだ場合

水でうがいをして、ただちに医師の手当てを受ける。

5. 火災時の措置

適切な消火剤

多量の水、周辺の消火に適したものを使う。

使ってはならない消火剤

該当情報なし。

特有の危険有害性

不燃性であるが、約130°Cでホスフィンを発生する。

特有の消火方法

危険でなければ火災区域から容器を移動する。

消火を行う者の保護

安全に対処できるならば着火源を除去すること。

消火活動は風上から行い、有害なガスの吸入を避ける。適切な空気呼吸器、防護服(耐熱性)を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急措置	作業の際には適切な保護具を着用し風上から作業して、風下の人を退避させる。
環境に対する注意事項 回収・中和	河川等へ排出され環境への影響を起こさないように注意する。 保護具を着用し風上から作業を行い、風下の人を退避させる。少量の場合には、おがくず・ウエス・砂などで吸収させて空容器に回収する。大量の場合には、土嚢などで流出を防止し、液の表面を泡で覆い、空容器に回収する。
7. 取扱い及び保管上の注意	
取扱い	
技術的対策 局所排気・全体換気 安全取扱い注意事項	適切な保護具を着用する。 取り扱い場所には局所排気装置を設置する。 取扱後はよく洗うこと。 ミストを吸入しないこと。 適切な保護手袋、保護眼鏡、保護面を着用すること。 吸入、飲込み、皮膚への接触を避ける。
接触回避	
保管	
技術的対策 保管条件 容器包装材料	酸化性物質と一緒に保管しない。 施錠して保管すること。 ポリエチレン
8. ばく露防止及び保護措置	
許容濃度等 管理濃度 日本産衛学会 ACGIH	未設定 未設定 未設定
設備対策	この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。 ばく露を防止するため、作業場には適切な全体換気装置、局所排気装置を設置すること。
保護具	
呼吸器の保護具 手の保護具 眼の保護具 皮膚及び身体の保護具 衛生対策	保護マスクを着用する。 ゴム手袋を着用する ゴーグルを着用する 作業衣を着用する 取扱い後はよく洗うこと。
9. 物理的及び化学的性質	
物理状態	液体
色	無色又は微黄色
臭い	該当情報なし。
融点・凝固点	該当情報なし。
沸点、初留点及び沸騰範囲	該当情報なし。
可燃性(固体、ガス)	該当情報なし。
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界	該当情報なし。
引火点	該当情報なし。
自然発火温度	該当情報なし。
分解温度	130℃以上で分解して有毒、可燃性のホスフィンを発生する。
pH	1(20℃, 50%ホスフィン酸溶液)
粘度	該当情報なし。
溶解度	水、エタノールに可溶。
n-オクタノール/水分分配係数	該当情報なし。
蒸気圧	該当情報なし。
密度及び/又は相対密度	1.22(20℃)
相対ガス密度	該当情報なし。
蒸発速度(酢酸ブチル=1)	該当情報なし。
10. 安定性及び反応性	
安定性	
危険有害反応可能性	130℃以上で分解して有毒、可燃性のホスフィンを発生する。 アルミニウム、軟鋼等と反応し、爆発性の水素ガスを発生する。還元性が強いので酸化剤と激しく反応する。
避けるべき条件	酸化性物質との接触。高温。
混触危険物質	酸化性物質
危険有害な分解生成物	ホスフィン(PH ₃)
11. 有害性情報	

急性毒性	<p>(ホスフィンの毒性) 初め特異な悪臭を感じ、頭痛、胸部不安、嘔吐、悪寒、横隔膜部位の疼痛があり、ついで呼吸困難、無力感、めまい、気管支炎、呼吸気道の浮腫、水腫、痙攣、歩行困難より昏睡し死に至る。食中毒やチフスに似た症状を呈する。290～430ppmでは1時間の暴露後に生命に対して危険な濃度であり、400～600ppmでは30分～1時間で死に至る。2000ppmではたちまち致死する濃度である。</p>
<p>皮膚腐食性・刺激性 眼に対する重篤な損傷・刺激性 呼吸器感作性又は皮膚感作性 生殖細胞変異原性 発がん性 生殖毒性 特定標的臓器・全身毒性(単回ばく露) 特定標的臓器・全身毒性(反復ばく露) 誤えん有害性</p>	<p>皮膚を刺激する。(pH<2のため区分1とした) 眼を刺激する。(pH<2のため区分1とした) 該当情報なし。 該当情報なし。 該当情報なし。 該当情報なし。 該当情報なし。 該当情報なし。 該当情報なし。</p>
12. 環境影響情報 生態毒性	<p>短期 (急性): 該当情報なし。 長期 (慢性): 該当情報なし。</p>
<p>残留性・分解性 生態蓄積性 土壤中の移動性 オゾン層への有害性</p>	<p>該当情報なし。 該当情報なし。 該当情報なし。 当該物質はモントリオール議定書の附属書に列記されていない。</p>
13. 廃棄上の注意 残余廃棄物	<p>廃棄の前に、可能な限り無害化、安定化及び中和等の処理を行って危険有害性のレベルを低い状態にする。 廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。 容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。</p>
14. 輸送上の注意 国連番号	3264
<p>品名(国連輸送名) 国連分類 容器等級</p>	<p>その他の腐食性物質(無機物)(液体)(酸性のもの) クラス8 II</p>
輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策	<p>運搬に際しては容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないよう積み込み、荷くずれの防止を確実にを行う。</p>
国内規制がある場合の規制情報	<p>消防法の規制に従う。 船舶安全法の規制に従う。 航空法の規制に従う。</p>
<p>陸上輸送 海上輸送 航空輸送 応急措置指針番号</p>	154
15. 適用法令	<p>化学物質管理促進法(PRTR法) 指定化学物質に該当しない。 毒物及び劇物取締法 毒物及び劇物に該当しない。 労働安全衛生法 名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物に該当しない。 消防法 危険物に該当しない。 船舶安全法 腐食性物質 航空法 腐食性物質</p>
16. その他の情報 参考文献	<p>NITE-CHRIP(製品評価技術基盤機構HP) 16615の化学商品(化学工業日報社) 職場のあんぜんサイト(厚労省HP) NITE-GHS分類結果(製品評価技術基盤機構HP)</p>
<p>記載内容のうち、含有量、物理/化学的性質等の数値は保証値ではありません。危険・有害性の評価は、現時点で入手できる資料・情報 データ等に基づいて作成しておりますが、すべての資料を網羅した訳ではありませんので取り扱いには十分注意して下さい。</p>	